

修正版

記者発表資料

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



令和7年9月2日
横浜市建築局住宅再生課
横浜市泉区区政推進課
相鉄ホールディングス株式会社
株式会社 HelioX
相鉄リフォーム株式会社

太陽光発電付きモビリティの実証実験を開始します

～脱炭素型まちづくりや新たな交通手段の導入に向けて～



横浜市は相鉄ホールディングス株式会社と連携し、郊外住宅地のまちづくりを行っています。

このたび、「脱炭素を通じて地域の魅力を高める環境に優しいまち」や「くらしを支える持続可能な仕組みがあるまち」を目指し、太陽光発電付きモビリティの実証実験を行います。

この実証実験では、郊外住宅地において脱炭素社会に向けた新たなモビリティを利用する可能性を探るため、横浜市泉区役所及び相鉄リフォーム株式会社が通常業務の中で各2台、計4台を使用するとともに、イベントなどで市民向け体験会を実施します。これらを通じて、太陽光発電量やCO₂削減量、郊外住宅地で使用することの課題などのデータを収集・分析し、本格運用に向けた検証を行います。

特に本市郊外住宅地の特徴である交通量の多さや丘陵地での使用、多様な利用者層への対応などの課題に対して、新たなモビリティが市民生活の中で安全・安心・安定的に使用することが可能かを検討していきます。また、これらの実証を通じて本市の課題である地域公共交通を補完するための拡張性や発災時の有用性も確認していきます。

【実証実験概要】

1 実施期間

実証実験を見合わせています。

開始時期はあらためてお知らせいたします。

2 実施場所

いずみ中央駅及び緑園都市駅周辺

3 市民向け体験会の実施

横浜市が相鉄ホールディングス株式会社とともにまちづくり

に取り組む「相鉄いずみ野線沿線次代のまちづくり(FCP)」(裏面参照)関連イベントにて、車両展示・体験等の実施を予定しています。詳細は FCP のホームページ(<https://www.izuminoline-fcp.jp/>)にて更新予定です。



太陽光発電付きモビリティ
(株式会社 HelioX)



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



4 取材について

実証実験や各イベントでの車両展示・体験等について取材をご希望の方は、建築局住宅部住宅再生課にご相談ください。個別に対応させていただきます。

5 その他

推進体制や各社の役割、今後の予定等については添付の相鉄グループリース資料をご覧ください。

【参考】FCPについて

横浜市は、相鉄ホールディングス株式会社と郊外部における多様な世代にとって住みやすく、環境に配慮したまちづくりを推進するため、「相鉄いずみ野線沿線地域における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を平成25年4月に締結し、「相鉄いずみ野線沿線 次代のまちづくり(FutureCityProject=FCP)」を進めています。



お問合せ先

(相鉄いずみ野線沿線地域における次代のまちづくりに関すること)

建築局住宅部住宅再生課長

小屋畠 育恵 Tel 045-671-4543

(実証実験全般に関すること)

相鉄グループ広報担当

相鉄ビジネスサービス(株)総務広報担当

伊藤・関口・川崎・小林・白井

Tel :045-319-2057

メール:kouhou@sotetsu-group.jp



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷





明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

HELIoX
NEXT GENERATION ELECTRIC MOBILITY

2025年9月2日

脱炭素型まちづくりや新たな交通手段の導入に向けて 太陽光発電付きモビリティの実証実験を開始 ～次世代スタートアップ支援・次世代モビリティとして～

相鉄ホールディングス株式会社
横浜市
株式会社HelioX

相鉄グループの相鉄ホールディングス(本社・神奈川県横浜市西区、社長・加藤 尊正 以下、相鉄 HD)と横浜市、および株HelioX(本社・東京都豊島区、代表取締役・ハン ビン 以下、ヘリオス社)は、2025年9月4日(木)から、相鉄いずみ野線沿線において「太陽光発電付きモビリティの実証実験」(以下、本実証実験)を開始します。なお、相鉄グループとして本実証実験を行うのは初めてとなります。

本実証実験は、相鉄 HD と横浜市が締結している相鉄いずみ野線沿線の次代のまちづくり「Future City Project※」(以下、FCP)の取り組みの一環として行われるものであり、「脱炭素を通じて地域の魅力を高める環境にやさしいまち」や「くらしを支える持続可能な仕組みがあるまち」を目指して、次世代モビリティとしての太陽光発電付きモビリティの実現の可能性を検証します。

本実証実験では、相鉄 HD と横浜市が主体となり、太陽光発電付きモビリティの課題検証に取り組みます。横浜市においては泉区役所、相鉄グループにおいては相鉄リフォームにて、それぞれ業務用の車両としてヘリオス社の太陽光発電付きモビリティを試験的に導入し、相鉄いずみ野線線路都市駅およびいずみ中央駅付近(横浜市泉区)で実施します。なお、実証実験の各種データの収集・分析は、ヘリオス社が担います。

本実証実験を通じて、現状の移動手段に対する代替性や拡張性を評価とともに、災害発生時などのモビリティの活用についても検証します。将来的には相鉄いずみ野線沿線をはじめ、横浜市内の脱炭素型まちづくりや脱炭素型の新たな交通手段としての可能性を探ります。

また、本実証実験期間中は、FCP が主催する相鉄いずみ野線駅前での地域交流イベントで、本取り組みの紹介や体験会などを実施し、地域住民の皆さんにもモビリティに触れていただいただく機会を設けてまいります。

概要は別紙のとおりです。

※相鉄 HD と横浜市は「相鉄いずみ野線沿線における『次代のまちづくり』の推進に係る包括連携協定」を締結し、多様な年齢層にとって住みやすいまちづくり(Future City Project、「FCP」)を2013年度から連携して進めています。



太陽光発電付きモビリティ

太陽光発電付きモビリティの実証実験の概要

1. 期間

2025年9月4日（木）から2026年3月31日（火）まで（予定）

2. 目的

地域環境への負荷軽減を通して、脱炭素型交通手段として、検討地域における次世代モビリティとしての太陽光発電付きモビリティの実現可能性を検討します。

3. 本実証実験の内容

横浜市においては泉区役所が、相鉄グループにおいては相鉄リフォームが、それぞれ業務用の車両として実験的に運用し、検証データを収集します。

4. 検証データの内容（指標）

- 消費電力（太陽光発電量）
- CO₂削減量
- 走行回数
- 走行距離
- 利用人数
- アンケート

5. 各社の役割

【相鉄 HD 社および横浜市（建築局）】

- (1) 本実証実験の事務局・広報活動
- (2) 本実証実験地域住民へのアンケート調査実施
- (3) 上記(2)およびヘリオス社の分析・検証結果を参考に、本格運用の可否を判断

【ヘリオス社】

- (1) 本実証実験の運用・管理・広報活動
- (2) 各種データ分析・検証

【横浜市（泉区役所）および相鉄リフォーム】

- (1) 本実証実験の実施
- (2) 本実証実験結果をヘリオス社に提出
- (3) 利用者アンケート結果をヘリオス社に提出

6. 今後の予定

- (1) 2025年9月4日（木）から 本実証実験開始
- (2) 2025年11月から順次イベント展示会実施
- (3) 2025年10月、12月、2026年2月、3月（計4回）プロジェクト内での中間評価
- (4) 2026年4月 全体評価およびとりまとめ



本実証事業における各社の役割（イメージ）

【参考】

相鉄ホールディングスの概要

1. 会社名
相鉄ホールディングス株式会社
2. 所在地
神奈川県横浜市西区北幸2丁目9番14号
3. 代表者
加藤 尊正
4. 事業内容
グループ経営事業
<https://www.sotetsu.co.jp/>
5. 資本金
388億303万4,708円

株式会社 HelioX の概要

1. 会社名
株式会社HelioX
2. 所在地
東京都豊島区南池袋2丁目47番-7号802
3. 代表者
ハン ビン
4. 事業内容
ソーラーパワーマイクロモビリティ事業
ソーラーパワーソリューション事業
<https://www.heliox-mobi.com>
5. 資本金
500万円